

# プレミアムシガーに係る小売定価制度の在り方について

令和6年3月19日  
財務省理財局

# 葉巻たばこを巡る事情について

- 近年、我が国において一部の葉巻たばこ（キューバ産のプレミアムシガー等）の入手が困難となっている。

## 我が国の葉巻たばこ（主にプレミアムシガー）の市場への考察

### 【1. 我が国の葉巻たばこ市場の構造】

- 我が国国内では葉巻たばこ（プレミアムシガー）は生産されておらず、**専ら輸入**されている状況。
- この際、輸入業者（たばこ事業法上の特定販売業者）は、
  - ① 現地製造メーカーの正規代理店となるか、
  - ② 自ら現地に赴き、現地の小売販売業者から購入して、日本に輸入すること等により国内販売を行っており、**同一の葉巻たばこ品目が、複数の事業者により取り扱われていることがある。**（紙巻たばこや加熱式たばこは、1つの品目を取り扱う事業者は通常1者）

### 【2. 葉巻たばこの需給状況】

- 現在、主要生産国であるキューバからの供給量の減少や、特にアジア圏での需要の高まりにより、一部の葉巻たばこはそもそも世界的なレベルで**入手困難化**し、その**価格も高騰の一途**を辿っている（国際的には、高級ワインや高級ウイスキーと同様、オークションで取引される葉巻たばこも存在）。
- **現行の小売定価制の下では、複数の事業者が取り扱う品目であっても1つの定価のみ設定されることとなるため、必ずしも事業者ごとの希望する小売定価が設定できるとは限らない**といった事情がある。
- 事業者によっては、高値であれば独自のルートで入手が可能となる場合もあるが、**設定された小売定価では利益が出ないため、定価変更認可申請自体を断念**し、そもそも当該品目の**輸入を断念**するケースもある。このため、一部の事業者からは、高騰した仕入価格に応じた定価を柔軟に設定できないか相談がある。
- また、葉巻たばこの種類が多く、卸値や為替の影響で輸入価格の変動が大きい中、事業者が定価の変更を求める際の**手続きが煩雑であり、負担**になっている実情がある。

# 葉巻たばこを巡る事情について（参考①）

## 葉巻たばこの種類

- 葉巻たばこについては、一般に、大きく、プレミアムシガー（人の手で巻かれ、温度・湿度管理に注意を要するもの）とドライシガー（機械で巻かれ、常温で保存できるもの）の2種類に分類。
- ドライシガーの中でも、紙巻たばこと似た形態の葉巻はリトルシガーと呼ばれている。

## 葉巻たばこ

### プレミアムシガー

（人の手で巻かれ、風味を保つためには、一定の温度及び湿度の管理を要する）



- コーバ ベイケ BHK 56 28,000円（キューバ）
  - コーバ・ロブストス 9,000円（キューバ）
  - パルタガス・セリーディ・No.4 4,000円（キューバ）
  - ダビドフ NO.2 3,800円（ドミニカ共和国）
  - toki ロブスト 2,000円（ドミニカ共和国）
  - グリフィン ロブスト チュボス 1,950円（ドミニカ共和国）
  - プラセンシア オリジナル ロブスト 1,850円（ニカラグア）
- ※価格はいずれも1本当たり

主にシガーバー、たばこ専門店で取り扱い

### ドライシガー

（機械で巻かれ、乾燥しており、常温で保存が可能）

### ドライシガー



- ダビドフ デミタス 420円（ドイツ）
  - ハンデルスゴールド・ブラック・ウッドチップ 170円（ドイツ）
- ※価格はいずれも1本当たり

主にたばこ専門店、一部の街のたばこ販売店で取扱い

### リトルシガー



- エコー・シガー 500円（日本）
- ※20本入り

紙巻たばこ同様、通常の小売販売店（コンビニ、スーパー、街のたばこ販売店等）で取扱い

# 葉巻たばこを巡る事情について（参考②）

## 葉巻たばこ（主にプレミアムシガー）の市場の状況

### 1. 主なプレミアムシガー生産国からの我が国の葉巻たばこの輸入量

- 近年、プレミアムシガーの最大の輸入国であったキューバからの輸入が著しく減少

生産国名	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
キューバ	9,892 kg	10,084 kg	9,451 kg	10,301 kg	3,706 kg	6,157 kg	7,389 kg
ドミニカ共和国	6,112 kg	8,340 kg	14,141 kg	5,686 kg	16,620 kg	20,771 kg	24,896 kg
ニカラグア	676 kg	915 kg	733 kg	1,270 kg	1,082 kg	2,460 kg	3,596 kg
ホンジュラス	575 kg	569 kg	622 kg	695 kg	958 kg	1,314 kg	3,753 kg

（出典：財務省貿易統計）

### 2. キューバ産葉巻等の値上がり状況（日本への輸入価格）

- キューバ産葉巻の輸入価格は、ここ3年間で銘柄によっては年平均2割以上、中には対前年比80%値上がりしたのものもある。  
（円ベース）

銘柄（生産国）	2022年（対前年比）	2023年（対前年比）	2021年比較増加率
銘柄A （キューバ産）	+41.4%	+4.8%	+48.2%
銘柄B （キューバ産）	+84.3%	+45.6%	+168.3%
銘柄C （キューバ産）	+35.3%	+11.6%	+51.0%
銘柄D （キューバ産）	+35.3%	+11.6%	+51.0%
銘柄E （ドミニカ共和国産）	+42.2%	-	+42.2%
銘柄F （ニカラグア産）	+74.0%	-	+74.0%

（出典：財務省調べ）

（注）紙巻たばこについては、2021年10月のたばこ税率引上げ以降、定価変更したものは無い

## 現行の小売定価制度①（趣旨）

- 小売定価制は、専売制度において設けられていた定価制度を直ちに廃止すると、大量購入・大量販売を背景とした廉売競争により、市中の零細たばこ店が廃業に追い込まれ、製造たばこの流通に大きな影響を与えてしまうため、零細たばこ店を廉売競争から保護し、消費者が不便なく製造たばこを購入できる環境を維持することを目的として創設。

### → プレミアムシガーの特徴

- ・ 市中のたばこ店ではなく、シガーバー、たばこ専門店等で販売されており、販路は限定的
- ・ 高価格で流通量が少ないため、廉売競争が生じにくい

## 現行の小売定価制度②（法令の構造）

- J T 又は特定販売業者（輸入業者）が製造たばこの販売をする場合においては、**業者ごと及びその品目ごとに1つの小売定価を定めて財務大臣の認可を受ける**ことが義務付けられている（法律で規定）。
  - 申請された小売定価が競合する以下の場合には、それぞれ以下のとおりの取扱いとなる（政令で規定）。
    - ① **2以上の者から同一品目について異なる小売定価で認可申請があった場合**  
→ **いずれか1つの小売定価のみ認可**
    - ② **既存の認可小売定価を維持する者と、変更を希望する者が存在する場合**  
→ **既存の小売定価を維持 or 変更の希望のあった小売定価を認可**（既存の小売定価は失効）
- ※ 上記①又は②の判断をするに当たっては、各業者に他の業者の小売定価に係る意向を通知するとともに、財政制度等審議会（たばこ事業等分科会に設置された定価等部会）の意見を聴くこととされている。



政令を改正して、プレミアムシガーについては、1つの品目について輸入業者ごとに1つの小売定価を定めることが可能とする案が考えられる。